

令和 8 年度事業計画書

山口学芸大学

【教育・研究】建学の精神に基づく人材育成、教育内容・方法の改善

1. 教育理念・ビジョンに基づく教育活動の推進

(1) 建学の精神に基づく、教育理念・目的・教育方針の明確化と浸透

- ① 教育理念・ビジョン・教育方針を、多様な機会をとらえて学内外へ発信する。

(2) 強みを明確にしたブランディングの確立と実行

- ① 多様な校種に対応する教員養成機関として、配慮を必要とする子どもへの指導や支援力を教職課程の必修科目で育成する教育課程を確立する。

(3) 地域との連携・協働による人材育成機能の強化

- ① 地域と連携した正課内教育を実施する（正課内のキャリア教育による育成実施）
- ② 地域と連携した正課外教育を実施する（正課外活動による育成機能の継続・充実）
- ③ 地域活性化人材育成事業（SPARC）後のプラットフォームづくりに向けた協議を加速する。
- ④ 高大連携及び姉妹校との連携活動の充実を図る。

2. 学修者本位の教育展開による学びの質の向上

(1) 教学マネジメントによる内部質保証体制の実効的運用

- ① 3つのレベル（授業、学部・学科、大学）毎に点検・改善を実施する。
- ② 次期学習指導要領の方向性を踏まえた、Society5.0 の時代に求められる新たな教育者・保育者養成の教育課程の充実を図る。

(2) 出口の質保証等の自己実現に係る学生満足度の向上

- ① 専門職を含む、学生の自己実現に向けた支援を強化する。

(3) 教育の質向上や地域活性化に資する研究の推進

- ① 教育の改善や地域活性化に資する研究を実施する。

【運営】運営体制の充実・強化

3. ガバナンスの強化

(1) 内部統制システムの適切な運用

- ① 年度計画に関する自己点検・評価をガバナンス・コードの点検・改善を踏まえて実施し、年度目標の達成を図る。

(2) 危機管理体制の確立

- ① 「危機管理基本マニュアル」等に基づき、消防計画、事業継続計画(BCP)や事業継続マネジメント(BCM)等の更新を行い、周知徹底し、適切に運用する。
- ② 緊急地震速報の訓練及び防災訓練を実施する。

(3) 適正な収容定員の管理

- ① 社会ニーズを踏まえ、入学定員・収容定員を適切に管理し、将来の学科改組や収容定員の変更に備える。

4. 持続可能な収容定員の確保

(1) 学生募集の強化と適正な入学定員の管理

- ① 学生の意見を取り入れた広報活動の強化を図る(学生によるInstagramの開設)
- ② オープンキャンパスの内容に充実に努め、学生募集の強化を図る。

- ③ 適正な学生数の確保と入学定員の管理

5. 魅力的な教育研究環境の構築

(1) 教育・研究活動の質的向上を支える計画的な環境整備

- ① 後期財務計画に基づき、各補助事業募集を考慮した年度計画を実施する。
- ② 研究活動の促進と外部資金の獲得を支援する研究助成制度を継続し、研究助成経費の適切な配分を実施することで科研費の申請件数の向上を図る。

<施設設備整備・環境整備予定>

- イ) 空調設備、電話交換機 PBX 更新
- ロ) 学内無線 LAN 機器ライセンス更新
- ハ) A301 モニター更新

(2) 学生数に応じた適正な教職員体制の維持

- ① 学生数に応じた適正な教職員体制を維持するために、計画的な教職員の採用を行う。

【財政】健全な財政基盤の維持

6. 財政基盤の維持・強化

(1) 適正な経常収支差額の維持

- ① SDGs にも配慮した経費抑制と、自主財源・補助金の確保および計画的運用により持続可能な財政運営を図る。